(記入例)

(様式第1号)

応募申請書

平成18年4月12日

岩手県担い手育成総合支援協議会
会長 中野 昌造 殿

申請者 住所 ○○市菜園○○-○○
氏名 盛岡 太郎

集落リーダーとして活動することにつき、「集落営農育成・確保緊急支援事業の実施について」記の第1の2の(2)のAの(i)の規定に基づき、下記のとおり応募します。

記

1 活動予定地区

① 活動予定地区の範囲

○○市菜園1丁目 菜園集落及び内丸集落
(区域が集落の一部の場合等には、地図により位置を特定するものとする。)

② 活動予定地区の概況

- ・地域区分：(中山間地域以外)
- ・活動予定地区内農地面積： 40ha (田： 20ha、畑： 20ha)
- ・主な栽培作物：米、麦、大豆
- ・担い手農業者の状況

地区内総農家数 40戸 うち認定農業者数 5人

・その他

2 集落営農参加見込み

人数： 35 保有農地面積： 35ヘクタール

3 集落営農に対する考え方

① 集落営農の形態のあり方

零細な規模の兼業農家が多い集落であり、また、地域的なまとまりも昔からあることから、集落構成員全員参加の集落営農を目指す。

② 農地管理のあり方

当面、品目横断的経営安定対策の対象となる米、麦、大豆作の農地についてのみ、主要な方々でオペレータ部隊を組織し主要な作業受託する。

③ 地域の役割分担のあり方

主要な作業はオペレータ部隊、水管理、肥培管理、畦畔草刈りについては原則地主が作業、他の作物の管理については特に規定しない。

④ その他(農作業のあり方、機械利用のあり方等)

農作業のあり方については上記③の通り。品目横断的経営安定対策の対象となる米、麦、大豆作に関連する農業機械については、今後は、集落営農に参加する農家個々の機械更新は行わず、組織で一括購入する。

4 活動予定地区における集落営農の必要性

当集落では、ほぼ総兼業で零細な農家が多く、基本的に自己完結型の農業を営んできたが、主要な農業の担い手が高齢化しこのままでは集落の農業が立ち行かなくなってしまう。幸いにも中堅農家が数名おり、この方々を核に集落全員参加型の集落営農を構築したいと考える。

5 活動計画

別紙

6 備考

活動計画書

1 現状把握調査活動計画

活動日数	活動内容	活動人員	備考
5	集落の農業に関する情報収集	5人	農協、農業委員会等から情報を提供する。

2 意向把握調査活動計画

活動日数	活動内容	活動人員	備考
5	集落農家の農業経営、集落営農参加に向けた意向把握	5	既に調査をしているものがあるで、その補足調査。

3 情報収集活動計画

実施年月日	活動内容	活動人員	備考
18年6月	集落営農県内先進事例の調査視察。	3人・日	3日間で2カ所程度の視察。

4 税務等相談活動計画

実施年月日	活動内容	相談員	備考
18年8月	品目横断的経営安定対策加入に向けた経理相談。 決算に向けた経理相談。	2人	
12月		2人	

5 集落営農戦略ビジョン案検討会開催計画

実施年月日	活動内容	出席人員	備考
18年6月	集落水田農業ビジョンの見直し	15人	既にある集落事業に必要項目を追加。

6 合意形成促進活動計画

実施年月日	活動内容	出席人員	備考
18年6～7月	集落営農戦略ビジョンの集落認知と特定農業団体化に向けた集落合意。	延べ140人	およそ4回から5回程度実施。

7 定款又は規約締結に向けた活動計画

実施年月日	活動内容	出席人員	備考
18年8月から9月	集落営農組織の設立ならびに特定農業団体化	延べ70人	2回程度実施

8 その他の活動計画

実施年月日	活動内容	出席人員	備考

(様式第5号)

略 歴 書

住 所	〒020-0024 〇〇市菜園1丁目-〇〇-〇〇〇			
フリガナ 氏 名	刊枘 知 盛岡 太郎		生年月日	昭和17年4月1日 (64才)
略歴	年号	年	月	学歴・職歴・賞罰
	昭和	36	4	〇〇高校卒
	昭和	36	4	旧菜園農協奉職
	平成	14	3	現〇〇農協退職
	平成	14	7	〇〇市農業委員

上記のとおり相違ありません。

氏 名 盛岡 太郎

個人情報について※

- この略歴書でご提供いただいた個人情報は、安全かつ厳重に管理致します。
- この略歴書に記載された個人情報は、集落営農推進リーダーの承認審査の為にのみ使用します。
- この略歴書に記載された個人情報は、貴殿のご同意なく当協議会の関係機関及び農林水産省以外の第三者に開示・提供・預託することはありません。

(様式第6号)

推 薦 状

平成18年4月10日

岩手県担い手育成総合支援協議会
会長 中野 昌造 殿

推薦者 〇〇市津志田14-37-2
〇〇市農業委員会会長 岩手太郎

この度、集落営農育成・確保緊急支援事業における集落リーダーに応募する盛岡太郎氏について、下記のとおり推薦しますので、よろしくお願い申し上げます。

また、同氏が集落リーダーとして活動することとなった場合には、その活動を支援・協力してまいります。

記

1 本人の集落リーダーとしての能力・性格等についての全般的な感想

盛岡氏は長年の地元農協職員としてキャリアを積み、地元集落のみならず〇〇市全域でも人望が厚い。また、農協退職後は農業委員も務め、農政、農地制度についても詳しく、農家の相談役も務めている。一昨年からは地元集落の「集落水田農業ビジョン」のまとめ役を務め、この度の品目横断的経営安定対策の加入対象となる集落営農組織の立ち上げに意欲を持っている。

2 推薦理由

上記キャリアを活かし、集落をまとめるコーディネータ役として適任であることから当該事業の集落リーダーとして推薦するものである。